

農作物技術情報 第9号 畑作物

発行日 平成30年 11月 29日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコン、携帯電話から「<http://i-agri.net/Index/gate002>」

- ◆ 小麦 生育は順調で、越冬前の生育量は十分に確保されています。雪腐病の発生量は「やや多」と予想されていますので、雪腐病の常発地帯では、雪腐病防除を根雪前に行いましょう。越冬後の融雪対策のため排水路の点検を行い、整備しておきましょう。

小麦

1 生育状況

好天に恵まれ、生育は旺盛で、分けつも順調に発生しています。うね間が見えなくなっているところや、草丈が長く、葉先や株全体の黄化が見られるところもあります。越冬前の生育量を十分に確保している圃場が多いのですが、今後、雪腐病の発生や白鳥による食害等が心配されます。

越冬前の生育量は小麦の収量に大きく影響します。現在の順調な生育を維持しつつ、越冬後には速やかに追肥作業や踏圧作業が適期に実施できるよう、排水対策を万全にしておきましょう。

2 雪腐病の防除

農作物病虫害発生予察情報第7号(平成30年11月14日発行)によると、雪腐病の予報は「やや多」となっています。発生ほ場を中心に雪腐病の種類に応じた防除を行いましょう。

県北部や高標高地帯など、根雪期間が長い地域では雪腐病防除を行いましょう。雪腐病の防除時期は根雪前が最も有効とされていますが、根雪になる時期は年によって変動が大きいため、散布時期を逃さないよう注意が必要です。薬剤等の情報は農作物技術情報第8号に掲載しておりますのでご覧ください。



写真1 雪腐褐色小粒菌核病の被害圃場



写真2 雪腐褐色小粒菌核病の拡大写真

3 排水路の点検

越冬後の融雪水の滞水による湿害等を防ぐため、根雪前に明渠や排水路の点検・整備を行いましょう。土塊等で塞がっている場合は撤去して、スムーズに排水が行われるようにします。

越冬後の圃場排水を促進することは、融雪期の追肥作業等が適期に実施できることにもつながります。

※冬期間は暗渠の水閘を閉じておきましょう。水をいっぱいに貯めてから3月に水閘を開き、一気に水を流すことで、堆積した水垢や土砂を押し出すことができます。

4 積雪期間中の注意

小麦は、積雪期間中、特に行う作業はありませんが、積雪状況などを定期的を確認して各種被害（雪害・凍害による枯死・生育不良、凍上害、野鼠害、鳥害など）が生じていないか確認しましょう。また、雪解けが近づいたら、越冬後の作業時期・内容を早いうちから計画します。なお、積雪している圃場は滑りやすい上に、水路等の確認が難しく危険です。事故防止のため、必要時以外は立ち入らないようにしましょう。

農作物技術情報の本年度定期発行は今号で終了となりますが、気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

中央農業改良普及センター・地域普及グループは、地域農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。